

第8章 高専に対する卒業生の要望

8.1 はじめに

本章では、「高専に望むことを以下の項目毎に書いて下さい」という質問に対して、本校に寄せられたメッセージをまとめている。

質問項目

- a. 後輩へのアドバイス
- b. 教育システム・目標
- c. カリキュラム
- d. 体制，環境
- e. 教官に望むこと
- f. その他（就職等）

この質問項目を、大きく3つに分類し

在校生へのメッセージ（a. 後輩へのアドバイス，f. その他）

教官へのメッセージ（e. 教官に望むこと，f. その他）

高専教育への提言（b. 教育システム・目標，c. カリキュラム，d. 体制，環境）

として、意見をまとめて概要としている。また、まとめるにあたり重要なポイントを抜き出し、番号を付けて詳細にまとめている。なお、卒業生の生の意見は報告書の最後に、抜き出した項目毎に番号を付けリンクさせている。

8.2 在校生へのメッセージ

（1）概要

卒業生から在校生へのアドバイスとしては、**高専生活でしっかり勉強することの必要性**が、最も多い。その中でも特に**英語，語学力を学ぶことの重要性**が特徴として挙げられる。そのためには、**将来のことを考えて目標を持って学生生活を送ることが大切であり、その結果として悔いのない有意義な高専生活を送ることができる。また、進学も視野に入れて勉強に励むことが大切であり、厳しい社会にも自信と誇りを持って前向きに取り組むことが必要である。また、就職に関して不況の社会でも前向きに頑張りたいなどの内容で、学生へのアドバイスが寄せられた。**

（2）詳細

1-1．高専生活でしっかり勉強すること：今回のアンケートで、後輩へのアドバイスとして最も多かった意見は「しっかり勉強しろ」という内容で、基礎学力，専門知識そして資格と数多く挙げられる。社会で仕事をしながらでも勉強は必要であり、学生である時間を有意義に使い、興味や疑問を持ち、考えることが大切である。

1-2．英語，語学力を学ぶこと：英語の勉強は必要であり、今回のアンケート結果にも顕著に現れている。「英語を勉強しましょう」という内容の意見が多く、英会話，TOEIC500以上などの修得を目指し、専門知識だけでなく、英語の力をつけることは最先端の技術力を求める上で不可欠であると思われる。また、報告書作成時などに語学力が必要であり、英語を含め語学の勉強をすることが大切である。

1-3．将来のことを考えて目標を持って学生生活を送ること：自分の目標を持つこと、将来のビ

ジョンをしっかりと持つことが大切であり、将来のことがうまく考えられなくても、5年後、10年後に自分が何をやりたいのかをイメージする事が必要である。夢と目標を持ち、入学を志した初心を忘れることなく日々の生活を送ることが大切である。

1-4．悔いのない有意義な高専生活を送ること：クラブ活動や学生会活動等への参加，アルバイト，インターンシップ，会社の夏季研修への参加など，学生時代は失敗を恐れず，恥をかくことから逃げずに，積極的に挑戦するべきである。また，教官や先輩あるいは友人，親など，人とのつきあいのなかで礼節を学ぶこと，コミュニケーション能力を鍛えること，同窓生，友人等人間関係は大切にすること。勉強，運動，友人等，すべてが大切であり，後で，自分の宝となる。

1-5．進学も視野に入れ：高専から大学や大学院への編入，また専攻科も含めて，進学した方がよい。高専卒は，学歴としては中途半端であり，全体的に大卒，大学院卒が有利である。

1-6．厳しい社会：バブル経済崩壊後，企業環境は大きく変化しています。終身雇用の考え持つ企業は数少なくなり，実力のある者だけしか残れないそんな状況です。専門だけに偏った知識だけでなく，体力，企画力が必要です。厳しい時代ではあるが，自分に自信を持ち，就職後も社会，社内で実力を発揮できるよう日頃から勉学に励むことが大切である。

1-7．自信と誇りを持って：高専卒であること，高専生であることに自信と誇りを持つこと。大卒と比べて実務経験は長く，専門の能力は大卒に比べて引けをとらないので，自信を持ってやることが大切である。ついていけないと感じても努力すれば必ず報われます。

5-1．学生へのアドバイス：後悔の無いよう就職先を考える必要がある。そのためには，自分が本当にしたいこと，早い段階から考えて行動することが大切であり，資格取得もそのひとつである。在学中には様々な可能性に前向きに取り組み，世の中の経済状況に負けないバイタリティーと自分だけの特技を身に付けること。高専の就職状況に頼らず，自由応募で挑戦してみること，夢を持って頑張ること，大学進学も考えておくことが大切である。

（３） まとめ

今回寄せられて意見の中で，最も多かったのが高専生活でしっかり勉強するようにという内容であった。在学中は勉強に対する意欲も様々であったと思われるが，社会に出て勉強の必要性を改めて感じた人が多い。その中でも英語，資格，専門知識が特に重要であることが挙げられる。進学を奨める意見もあり，今の技術者に求められている学力の高さが伺える。生活面においては，クラブ活動や学生会活動などに積極的に参加し様々な経験をすること，友人，知人を学生時代に作ることが大切である。二度とない青春時代を高専で過ごし有意義に送るためには，学業，運動，コミュニケーションの全てが大切であり，これらは一生の財産になると言える。

8.3 教官へのメッセージ

(1) 概要

高専の教官は、教育、研究、学生指導の三本柱を背負っており、そのバランスが大切である。しかしながら、研究だけでなく**学生に目を向けて欲しい**という意見や、**卒業研究の指導方法**、**授業の改善**、**プレゼンテーション能力の向上**など多くの意見が寄せられた。高専の教官に求められている声としては、常に**新しい技術を導入し**、**社会に通用する技術者を育て**、**学生の個性を伸ばし**、**学生の心のケア**も行うことが望まれている。なかでも**情熱をもって学生と接することが最も大切なこと**だと思われる。また、卒業生からは**教官の指導方法について**、叱咤とともに**激励も寄せられている**。学校の就職に取り組む姿勢は、**現状でもよい**という意見はあるものの、さらなる**進路指導についての改善要求や教師への要望**が盛り込まれている。

(2) 詳細

4-1. 学生に目を向けて欲しい：教官は、学生とコミュニケーションをとり、学生の声を聞き、研究だけでなく教育にも力を入れて欲しいと言う意見が寄せられた。人の一生が、かかっていることを忘れずに、学生一人一人の才能や個性を見つけてそれを伸ばすことが大切であり、くすぶっている学生にも目を向け、創造性豊かな学生を育成し社会に送り出すことが大切である。教官には熱心な授業や学生指導が望まれている。

4-2. 卒業研究の指導方法：卒業研究に対しテーマを与えて、後はアドバイスがほとんど無しというのはつらいので、学生への対応をもっと活発に、そして協力が望まれている。学生の自主性を取り入れ、卒研テーマを自分で決めさせた方がよい。

4-3. 授業の改善：民間企業で実際に行われているシステム、計算方法、実験を取り入れた授業など、技術の現場を意識した技術者教育や、専門科目の概要やイメージを把握し、語句や式を覚えるのではなく、式の導き方や考え方を教えることや、授業内容が具体的にどのように活用されているのかなど、教え方を勉強し、工夫する事が望まれている。授業が退屈なものにならないように、理解度を確認しながら、理論だけではなく実体験も交えて身近に考えられる教育をすることが大切である。

4-4. プレゼンテーション能力の向上：プレゼンテーション能力が会社に入って必要な場面が多いので発表資料の作成、発表の機会を多く作ることが望まれている。パワーポイントは使えるようになること。

4-5. 新しい技術を導入：学会等への参加や、企業との定期的な交流を行い、新技術を取り入れ実社会での技術動向を反映し、世の中の情勢を敏感に感じたり、それに合った教育を進めて欲しいという意見が寄せられた。教官は、常に自己の研鑽に励み、学生を幸せに導くこと、高い教育レベルが望まれている。

4-6. 社会に通用する技術者：社会に出て通用する技術者を育成することが望まれている。そのためには、知識も大切ではあるが、社会人としての心構えや精神的な強さも養うことが必要である。

固定観念にとらわれないやわらかい頭をもち、会社に左右されない実力と実行力を持つ技術者の育成が望まれている。

4-7．学生の個性を伸ばす：教官は、個人の感性を見出し、本人の気がついていない適性にも積極的に意見を述べ、学生が何かに積極的に活動できるようにサポートすることが望まれている。

4-8．心のケア：1～3年の高校生の年代の心のケアをするめたにも、カウンセラー的な存在の教官が必要であり、学生への精神面でのサポートを強化することが必要である。

4-9．情熱をもって学生と接する：教官は、熱意や情熱を失うことなく維持し続けることが望まれている。（6件寄せられました）

4-10．教官の指導方法について：教官の指導力向上や改善を望む意見、指導方法への疑問など、かなり厳しい意見も寄せられている。これらの意見に対し、素直に耳を傾けることも必要である。他には、さらに厳しい指導を望む意見や、学生の心の教育、倫理観を教えることも大切である。また、学生の自主性を尊重すること、研究に対する熱心な指導なども望まれている。

4-11．激励：素晴らしい教官にめぐり逢えてとても充実した学生生活でした。これからも頑張ってください。自分は教官に救われた感があるので、今のままで学生に接して欲しい。お体に気を付けて頑張ってください。若い学生の感覚に負けないで下さい。という意見が寄せられた。

5-2．現状でもよい：現状でよい、満足という意見が6件寄せられました。高専の5年間は仲間にも恵まれ、毎日ギターが弾けて最高でした。フォローも熱心にしていただいた。充分である。という意見でした。

5-3．進路指導について：企業に関する情報を多く集め、選択肢を増やすことが大切である。また、学生の意思を尊重した指導や、自発的な就職活動体制を作ることや、進学、留学の支援体制を作ることが必要である。そのためには、卒業生の就職した会社から動向・情報を解析することが有効であるし、在学中での企業体験、進路指導の時間や就職意識に関する講義を増やす必要がある。そして、厳しいのは就職でなく就職した後であり、社会に出てからも日々の勉強が必要である。

5-4．教師への要望：専攻科の知名度を上げること、大学卒と同等の扱いとなるよう社会や企業にアピールすることや専攻科、本科とも高就職率を維持することが望まれている。そのためには、社会との連携を密にすることが大切である。教育面では、社会人と学生の違い（受身と能動）を教えることや、何にでも対応できる資質、学部卒、院卒に負けない専門知識、プレゼンテーション能力を身に付ける教育をすること、学生の相談にのり、求人情報に関するデータをより分かりやすく示すこと、現場の生の声も沢山聞いておく必要がある。

（3） まとめ

教官に望まれていることとしては、まず授業の改善や卒業研究への指導方法改善が挙げられる。「教育者としての勉強はされているのでしょうか」、「専門のことだけでなく、教育者としてのレ

ベルアップも図って欲しい。」などの意見が寄せられており、授業の方法や研究指導方法への疑問符も多く、一人一人の意見に目を通すことにより、今後の改善が望まれる。次に、最新技術に関する情報や求人も含めた会社の情報の収集を行い、学生に多くの情報を提供することが望まれている。専攻科卒業生からは、専攻科の知名度を上げて欲しいという意見があった。教官への感謝の意を表した「素晴らしい教官にめぐり逢えてとても充実した学生生活でした。」「自分は教官に救われた感があるので、今のままで学生に接して欲しい。」などのメッセージも寄せられており、教官として大切なことは、常に学生の方に目を向けることであり、学生の個性を伸ばすこと、技術者を育てることに情熱を持って取り組み、自己の研鑽に励むことであると言える。

8.4 高専教育への提言

(1) 概要

・教育システム・目標、カリキュラム

一般教養の科目に関する改善要望の中で、英語教育に関する要望が強い。社会での英語力の重要性を読みとることが出来る。また、専門科目でも複合教育があだとなる場合もあり、卒業研究とともに更なる充実が望まれている。実験、実習の充実やパソコン教育の充実など具体的に社会で実務で用いる内容から、創造性豊かな教育、人間性を学ぶ教育など、柔軟なカリキュラムで対応することが必要であり、現在の状況に満足することなく、学生が学ぶ意欲を持つ教育システムを構築することが必要である。

・体制、環境

現状でよいと言う意見の反面、さらなる設備の充実も、実習工場、図書館、製図室、寮などが挙げられた。また、学生交流や情報交換の場などを設け、学生の意識改革をはじめ、学生生活をさらに活力のあるものにしていくことが大切である。そのためには、民間企業との連携を深めることや、資格を重視した環境をなど学生にとって厳しい教育環境も考慮する必要がある。あと、学校の立地場所は山の上であり、車両通学の許可を願う声もあった。

(2) 詳細

2-1. 一般教養の科目：専門技術の修得も大切ですが、社会では、専門外の知識も必要となります。一般教養、社会情勢、雑学を本や新聞で得ることが必要であり、教養科目を大学程度にすることも必要である。

2-2. 英語教育：世界に通用する人材になるためには、英語力が不可欠であり、英語教育の更なる向上が望まれている。外国人教師による発音、英文読解力、コミュニケーション等実践的な取り組みが必要である。

2-3. 専門科目、卒業研究の充実：企業の人の講義を増やすこと、事例を多く取り入れること、企業の即戦力になる実務的な内容、開発的技術者の育成、専門科目の増加、基礎教育の重視、最新の情報や技術、特許教育、資格取得等数多くの意見が寄せられている。社会に通ずる技術者を目指し、一層の努力を行う必要がある。卒業研究では、前年の研究をうつすだけでは意味がない、研究計画などを学生自身で行える部分が増えれば良い、レベルの向上、高度な研究等の意見が寄せられている。

2-4. 実験、実習の充実：実践力は高専の大きな特徴であり、机上だけではなく、実践的な指導

により技術力を付けることは大切である。規模の小さい教育環境を生かし、少数精鋭であることを利用すべきである。

2-5．パソコン教育の充実：今の時代，パソコンの知識は必要不可欠である。パソコン関連や情報技術の教育を充実されることが必要である。最低でも MicrosoftOffice はマスターしておくこと。

2-6．創造性豊かな教育：創造力・企画力を向上させ，開発につなげることが大切。物事の本質を見つめることが，創造性を高める近道である。

2-7．人間性を学ぶ教育：社会に出て先輩や上司に可愛がられる人間性，対人関係に優れるような教育システム，コミュニケーション能力等，高専では少年少女が大人になるまでの人格形成に関わっていることを意識することが大切である。

2-8．柔軟なカリキュラム：大学とは異なる点を有効に活用し，個人の感性を見出せるシステム，就職向けなシステム，原理原則を中心に考える力，理解力を高める教育システムが望まれている。他学科との協調も考えると良い。

2-9．現在の状況に満足：満足していたので特になし，現状で良い，時代背景と共にそれなりに（良い意味で）対応しているように感じられますので今後も続けてほしいという意見が寄せられました。

2-10．学ぶ意欲を持つ教育システム：学生に勉強する目的意識や興味を持たせ，実践を通して技術を習得させる教育システムが望まれている。大学受験が無い分，5年間一貫教育の時間的ゆとりを有効的に活用し，創造性豊かな技術者の育成，自ら考え行動できる技術者の育成が必要である。

3-1．現状でよい：現状で満足，良い，問題無しという意見が 34 件寄せられている。研究室での少人数体制や，計算機の充実等，十分整っていると思われる。あとは，それらの有効的な利用方法を考えるべきである。

3-2．設備の充実：図書室，製図室，談話室，学食の環境改善（クーラー等），研究・実験設備の充実，RAS 接続（リモート接続）や，1 人 1 台のパソコンの導入等の意見が寄せられた。

3-3．実習工場：実際にマシンが作れる環境や，実験室以外でもハードウェアの製作が出きる環境など，実習工場の設備をさらに充実させることが望まれている。

3-4．学生交流，情報交換の場：クラブ活動以外での学年間の交流や，大学との交流（サークル・授業），また，一般企業や他高専との交流を活発にできる場を作ることや，専攻科生は教官の部屋ではなく専攻科生の部屋が望まれている。また，3 学科が一致団結して目標に進み，連絡を密に取ることによって資源（施設・設備・人材）を有効活用し，ネットワークを広げることが大切である。

3-5．学生の意識改革：5 年間は長いので，目的意識を持つことが大切であり，最新の技術に触れることで目指す技術者の選択肢を広げ，世界にも目を向けることがモチベーションを高めることにもなる。

3-6．学生生活をさらに活力のあるもの：学生が伸び伸び生き生きと学べる環境と，そのバックアップ体制を整備し，個人のやる気や感性，個性を見出せるシステムを作る必要がある。専門知識の基礎部分の充実や，学生の熱意を盛り上げるため，高専祭を充実させる事もその一つである。

3-7．民間企業との連携：新しい技術を実につけ，授業に反映するような体制を作ることを考える。民間企業人の導入や卒業生による特別講義を増やすこと，教官自身が義務として企業への研修へ出かけ技術や実務経験を修得することで授業に幅が広がり，企業との連帯も強化されることが期待される。

3-8．資格を重視：国家試験へ積極的にチャレンジし，資格が取れるようなシステムの構築が望まれている。

3-9．厳しい教育環境：高専生活は，青春時代の一番大切な時期であり，墮落させることなく，大卒，院卒に負けない教育をすることが必要である。また，教官自身も守りの体制に入ることなく学生と向き合うことが大切である。

3-10．学校の立地：徳山高専の場所は，それなりに土地も広大で環境も良いが，山の上にあるので車両通学は認めて欲しい。

（3） まとめ

設備の面において，満足度は高いと言える。今後は，これらの設備を用いた卒業研究，専門教育，英語教育，実験実習，パソコン教育等の更なる充実が望まれている。また，学生同士の交流を深めるための交流の場が望まれており，学生の意識改革，意欲の向上にもつながることが予想される。学生が充実した生活を送ることができ，学ぶ意欲を向上させるカリキュラムや教育システムを構築することが必要であると言える。

8.5 本章のまとめ

本校の教育目標である「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」と卒業生の声は近いことが伺える。今後，この教育目標どおりの人材を育て社会に送り出すことが重要であり，学校や教官に求められている役割は大きいと言える。

（担当：桑嶋）

a. 後輩へのアドバイス

1-1. 高専生活でしっかり勉強すること

専攻科

在学中に資格を取得した方が良いと思う。

取れる資格は学生のうちに。(平日勉強できるのがうらやましいです)

色々な資格試験に挑戦して自信を持つこと。文武両道が一番。

基礎を大切に。

資格は在学中に

開発は常に技術革新・精度向上・原価低減・総合的判断が必要。ぜひとも各科目の有効性を理解して勉強をして欲しい。

興味あることを主体的にまた総合的に勉強してほしい。

もっと勉強して下さい。

実習は大切。

本科

高専でしっかりやれば大卒と同じくらいの力がつく

測量をしっかり勉強すること

5年間しっかり勉強してください。

専門業種にとらわれることなく学習して下さい

基礎をしっかり勉強すること

社会人になって苦労しないよう、しっかり勉強して欲しい

基礎的なことを勉強して欲しい

学生の頃にもっと勉強しておけば良かったと常に思います。

基本的な知識を確実に身につけること

勉強すること。このままだと中国等に上に立たれてしまう。

どのような職種につくにせよ必ず勉強はひつようです。今から勉強する癖を付けて下さい。

専門知識を身に付けて欲しい

しっかり勉強しておいたほうが良い

我々以上に勉学，研究に励んで欲しい。

給与を得る技術を学んでいる。自覚を持って欲しい。

得意科目を一つは作っておくこと

好き嫌いなく，どの教科もまんべんなく勉強しよう。

授業内容の70%ぐらい理解できれば大学でも十分通用する

浅く広く知識を修得。1つ自分の中で他人に負けないもの(技術・知識等)を持つ。

資格を取れ。履歴書に書ききれない程に。

高専の時に，しっかり勉強する「くせ」をつけた方がよい

専門教育はいつか必ず役に立ちます

実力を付けて下さい。

基本的な技術を広く知識を増やしてください。

何事にも興味と疑問を持って勉強してください

資格取得，積極的に勉強すること！

自分の専門分野を持つこと

幅広い分野に興味を持ってください。詰め込み勉強は時には必要です。

しっかり勉強せよ。

基礎的な学力を修得。暗記ではなく考え方を身につけて欲しい。

基礎はしっかりやっておくこと。それ以上は会社に入って自分で勉強すること。

公務員志望でなく、民間企業に入り、活性化を計ってほしい。

これは人に負けないというものを見つけてください。

レポート等きちっとまとめる習慣をつけましょう。

広い視野を持つこと。高専卒業生は壁に当たると弱い（逃げる）とよく言われる。

技術革新が早いのでそれに対応できるカリキュラムでの教養をお願いしたい

山口の中の徳山でなく、世界の中の日本を意識してください

研究発表などのプレゼンテーション能力を身につけて下さい。

物事の本質を見極める力をつけて下さい

今が一番頭の働く時、覚えなくて良いから教科書は取っておくこと（後で必ず役に立つ）

製図を勉強して下さい（JISの勉強）

ノートや教科書はちゃんと保管しておくこと、資格試験の時、楽です。

単なるテスト勉強ではなく、各学科に興味を持てるようにすること。好きでやった事は意外と後々になっても身に付いている

高専の教育は、就職後の業務の基礎としてきちんと役立ちます。頑張ってください。

学生の間にしっかり専門知識を身に付けること

世の中のため、しっかり勉強して下さい。

1-2. 英語、語学力を学ぶこと

専攻科

語学力の必要性について

英語力をつけるよう心掛けよう！！

英語は勉強して絶対に損はしない。

語学力の向上

語学力は是非つけておくべき

本科

英語は確実に必要になる。未だ、学歴社会の傾向だ

語学の勉強はしっかりと！

英語を勉強しましょう。

英語頑張ってください（TOEIC500点以上）

英語を勉強したほうが良いです

英語力（会話）を身につける。

英語は話せるくらいの程度になって下さい

特に英語力が弱いと思います。開発職につくと最新の情報は英語が多いのでしっかり勉強して下さい。

語学力のアップを。

資格の取得。英語力の向上

国際感覚を身につけて下さい

英語をもっと

英語力が足りない

英語だけはしっかりやっておく。余暇を充実させる。
在学中にレポートの書き方と英語の力を身につけて下さい
英語（語学力）はあるに越したことはない
英語をよく学んで下さい
英語を頑張ると良い
英語に限らず語学が大切（含 国語）
英語は学生時代に身に付けよう。

1-3．将来のことを考えて目標を持って学生生活を送ること

専攻科

情報技術に興味を持ってない場合は、この業界はやめた方が良い
できるだけ早くにどのような職種に就きたいか決めること
大変だと思うが、将来のビジョンをしっかり持つべきだと思う。
自分に合った仕事でないとやる気が出ないので就職は十分考えたほうが良い
夢と目標をもって。
早くやりたい事は何かを見極める。

本科

少なくとも3年以内に何がしたいか自分の進路を決めて勉強して欲しい。
5年後、10年後に自分が何をやりたいのかを常にイメージして日々を過ごして下さい。
高い希望を持って
将来、自分が何をやりたいのか明確な目標を持つことが大事です。
起業家・職業人意識を持って勉強してください。
自分の目標をもってほしい。
自分の将来をきちんと見据えて1年から頑張りつづけることが大切。
目標をもって日々生活してほしい。
入学を志した初心を忘れない
いろいろな意味で5年間に技術者としてのセンスを身につけて自分のやりたいこと、自分の会社
の中での役割を早く身につけて下さい
目標をもつ
目標を立案して、やりとげる経験が人を大きくします
目標をもってがんばって下さい
進路を考えて、目標を持った勉強をして欲しい
専攻にとらわれず自分の進みたい道へ進むと良い。無理をしても長くは続かないから。
五年間と長いのでしっかりと個人の目標を明確にして頂きたい
目的意識を持つこと、自分は何をしたいか早くから考えておく。
目標を高くもつ
将来の目標を立てて頑張りたい
勉強・進路についてよく考える。多くの苦労を経験する。
自分のやりたい職、つきたい職を早くみつけること
”何をしたいのか”，目的・目標を明確にして行動する習慣を身につけてほしい。
目標を持つことで勉強に張りがでると思う。
学ぶ目的、学ぶ意欲を持って

目標を早く見つけて進んで欲しい

自分の進みたい目標をしっかり立てるように

常に「なぜ？」という疑問を持って勉学に励んで下さい。

自分のやりたいことを早く見つけて、その勉強をしたほうがよい。

目的がなければ進学する所ではないと思う。公立高校のすべり止め感覚で受験すると困ります。

1-4 . 悔いのない有意義な高専生活を送ること

専攻科

就職する業種によると思いますが、学生時代の勉強、又は勉強・部活動をするという行為や努力は就職したら気が付きますが結構バカにできないものです。またその時にしかできないことも出来る範囲でトライしておくべきだと思います。(遊びも含めて) 当時の仲間も貴重な存在です。どんなことでもいいので学生生活を楽しんで充実したものにして下さい。

インターンシップや、会社の夏季研修などは積極的に参加すべき

人まかせでなく、自分で問題に取り組むことを意識して下さい。

自主性を持つこと。人に意見を伝えれる人間になること。

コミュニケーション能力を鍛えて下さい。

高専は好きなことを好きなだけできます。楽しみましょう

もっと遊んでいろいろな人とコミュニケーションしてください。

よく学びよく遊ぼう。

本科

色々なチャンスがあるので、その都度思いっきりチャレンジすると後悔しない。

クラブ活動・学生会活動等へ積極的に参加し、学んで欲しい。

目的目標を持って物事に取り組む。同窓生とは仲良く、友達は宝だ
5年間を楽しんでほしい。

体力をつけること。(体が資本)

学生時代に色々な経験を。人脈は大切に。

高専はいいよ！

自分の意見を大切にすること

勉強、運動、友人等、すべてが大切。後で、自分の宝となる。

教官や先輩あるいは友人、親など、人とのつきあいのなかで礼節を学んで下さい。

勉強も大切だが整った環境や年の差のある先輩の中で多くのものを学びとって欲しい。

自分が正しいと思うことを信じて行動してください。

部活動しましょう

やってみたいことをやる

よく学びよく遊んで下さい。

5年は長いです。中だるみ注意。

受験に惑わされない分、自分の時間はたくさんあるのでそれを有効に使って欲しい

何事も経験して自分の得意分野を発見して欲しい

色んなことに挑戦すべきである。

常に存在をアピールするための知識をもてるよう情報のアンテナをはりめぐらせる

よく遊ぶ(課外活動)

がんばれ

何事も（勉強以外でも）積極的にかかわってほしい
自信を持って、与えられた事を一所懸命に
学生の時に失敗すること、恥をかくことから逃げないで欲しい。
遊ぶ事、学ぶ事、悩む事。5年間楽しむのが一番。人間を磨こう。
いろいろなことに興味をもとう。
たくさんの経験をしてほしい
手を抜かないで頑張ってください
何事にも貪欲に取り組んで自分のものにして欲しい。
しっかり勉強せよ。勉強して、しっかり遊ぼう
学生時代は楽しく過ごして欲しいと思います
ポリシーをもって気合いをいれてやれ
やりたいことを頑張ってください
何でもよいので絶対に人に負けないものを一つ身に付けるといいよ
就職するとできない事もあるので（時間的に）、色々な事にチャレンジすべき
勉強も遊びもやる時にはとことんやりましょう。
アルバイトなどによる社会勉強をして社会に出てほしい。
遊びは程々に、やるべきことはやっておく。
若さで全力投球
柔軟な志向力を持って下さい。

1-5 . 進学も視野に入れる

専攻科

進学はしたほうが良い

大学（大学院）の選択は慎重に行うこと

高校→大学というより、高専で7年間同じ仲間であって行く方が良いと思う。

本科

高専のみの教育では社会に出て何も役に立たない。大学へ進学すべきである。

大学に編入するなら大学院を目指してほしい。

高専卒で企業に入るのはハンディが大きい。ただし、努力により成長は可能である。

全体的に大卒、大学院卒が有利であるので進学を進める

大学へは行くべきである

専門教育を学ぶなら、高校で基礎教育、大学で専門教育を学ぶほうがよい

高専から大学や大学院に編入することをすすめます。学歴としては中途半端。

就職するなら本科ですること（そのほうがしやすい）

1-6 . 社会は厳しい

専攻科

現場に出る人は体力をつけておくこと。

測量は常に使うのでよく学ぶこと。実際の仕事は思ったより難しくないで安心してよい。

物事を調べて分かるのはあたりまえ、目で見て印象付けておくほうが大切。

本科

専門だけにかたよった考え方をしないで下さい。社会人としては使えません。

バブル崩壊後、企業環境は大きく早変わりしています。昔のような終身雇用の考え方を持つ企業は数少なくなり本当に力のあるものだけしか残れないそんな状況になりました。就職後も社会、社内で実力を発揮できるよう日頃から勉学に励んでください。

会社では企画力が大事ですよ。

厳しい時代でもあり、自分に自信を持てるように

建設業は厳しいので期待しすぎは良くないと思う。

不況が続いていますが、前向きな姿勢でがんばってください。

今、企業人として生きていくことに関してのアンケートを取っていくことが正しいとは思えません。本当に今から企業で生きていくことを正しいと思っているのでしょうか。リストラ等現実的な今の社会を高専の指導者も見るべきであり、少し考え方がズレていると感じます。

「高専だから大丈夫」という甘い考えは通用しない

甘えるな。

不況による就職難ですが勉強して損はないので頑張って

社会の中で価値観が変化してきています。” 仕事は人間力をつける 1 つの方法論 ” と考えては？。

1-7 . 自信と誇りを持つこと

本科

初めは高専卒ということで大卒と比べられて尻込んだが何年も経つと全く変わらなくなる。就職してから自信を持ってしっかりやって下さい。

技術者志望者への教育機関としての高専に自信をもってもらいたい。

高専ならではの優位性を実感し、それを卒業後に生かしてほしい

高専卒で就職すると大卒に比べて早く実務を経験出来る。決して負けていないことを誇りに思うべし。

自律・自立～自分で物事を判断・考えることができる力を養成しておく事が大切

高専卒であることを自信にしてほしい。

高専生であることに誇りに思っがんばってください。

高専の良さは高専の卒業生の考え方次第で悪くなることがあります。

大学卒に負けるな

専門の能力は大卒に比べて引けをとらないので自信を持て。

ついていけないと感じても努力すれば必ず報われる（私も留年 1 回した一人）

b．教育システム・目標

2-1．一般教養の充実

本科

一般教養も強化して欲しい

一般教養（国語，歴史，地理など）科目についてもウェイトを置くべきと思います。

教養科目を大学程度に引き上げる。（理由：各種資格取得の際，大卒が多い）

一般教養の向上

1，2年の段階から数学的思考がどのように役に立つか教えていくべき

もっと厳しくしたほうがよい。英語を教えてください。社会情勢を教えてください。

専門技術の修得も大切ですが，就職すると専門外のことも多く吸収する必要に迫られます。学生時代には，そのためのベースとなる能力の養成が重要と思われます。

大学と比較して明確な差がないと駄目。

一般教養・雑学をしっかり本や新聞で得ておくといよい。

2-2．英語教育の充実

専攻科

世界に通用する人材になるためには英語力が不可欠。英語の強化を。

英語教育の充実

英語教育に力を入れて下さい。

英語力全国高専No1

語学力の向上するシステム（海外留学制度等）

本科

英語教育のあり方についてもう少し考える必要がある

英語教育はもっと増やした方がよいです。

英語のレベルが低いので独学でフォローすべき。せっかく受験がないのだから，もっと実践でつかえるコミュニケーション英語力を高めるカリキュラムでいいと思う。

外国人教師（英語）が必要。（日本人の発音は心もとない）

英語教育に乏しい

もっと英文を読む力を付ける（デバイスの説明書等で読む機会が多々ある。

英語を重視しているが，文法的なことよりもコミュニケーションの方に重みをおくべき

英語への取り組み

英語を身につけさせて欲しい

worldwide な時代，英語は必須。できれば学生時代に海外へ行くこと。

英語の授業にもっと力をいれないとやばい。

英語教育の強化

英語もっとも実践的な教育に力を入れて欲しい

英語ができない生徒の留学をさせ英語力をつければどうか

専門知識は会社に入ってからでも遅くないので語学，力学等の基礎知識を取得して欲しい。（会社の書面は英語であり入社してから苦労した）

2-3．専門科目，卒業研究の充実

専攻科

企業の人々の講義を増やしてほしい。

複合分野にわたる知識を有機的に結びつけることのできる開発的技術者の育成

専攻科では建築系（計画）の授業が少なかったと思う。

4年制大学に比べれば充実していると思います。あとは学生本人がどう生かすか...

基本的にはいいと思う。内容よりも教え方に重点をおくべきでは？

社会に通ずる技術者を目指し、一層の努力を

資格取得を単位に入れる。

大学以上の研究者育成

高い目標意識を！！

卒業研究のレベル向上。前年の研究をうつすだけでは意味がない

本科

特に出世しなくてもよいので、専門性の高い技術を身につけて。

起業できる人材を育てる教育システムにより傾注しても良いのではないのでしょうか。

専門が分かれているが、自分が何をしたいか（どういう職に就きたいか）を考慮して学ぶべき

基礎教育の重視。

土木と建築は1年次より独立させた方がよい。

専門に特化し個性を伸ばす教育をしてもらいたい。

卒研はもっと高度な研究をしてもらいたい。

専門科目の充実

卒業を難しくするべきだ

各先生によらない総合的なカリキュラムを作れば効率的？

もっと専門的な教科を増やして欲しい。

CAは私が在学中は特に土木の方が教授も沢山いてどちらかというと建築を学びたい人には不利でした。偏った教育ではなく、幅広い知識が得られて、就職してすぐに役立つ内容を増やして欲しい。

設計（開発）センスをみがく。カンをつかむ。

何もかも頑張らない方がよいと思います。掘り下げるところはもっと掘り下げるべき。

最新の情報、技術を中心とした教育。

実務とかい離している。（企業が求めているものと違う）

事例を多く取り入れてほしい

土木も建築も関係なく、同じ内容の勉強をしてほしかった。

もう少し、選択科目を増やし、将来に希望する職種に即したカリキュラムにして欲しいと思っておりました。また、積極的に専攻科、大学編入を目指し、より多くの知識、経験をつけるような体制として欲しい。（低学年からその意識を持つような教育となれば良いかと思います）

専門教育での基礎知識、新しい技術、特許教育

機械電気という中途半端はだめ。単位が機械科電気科の2倍なら話はわかる

研究開発に関する教育経験の充実

選択の幅がもう少し広がった方がよいと思う

研究計画などを学生自身で行える部分が増えればよい

基礎をしっかりやる

広く浅いのはどうでしょう

もっと厳しくしたほうがよい。

時代のニーズに添った教育

企業の即戦力になるようにもっと実務的な内容がいいと思う。

「真のテクノエリートの育成」を標榜し、現行教育システム（専攻科含む）の良さの再発見

山口大工学部に負けないような教養と専門教育

専門知識を応用する力をつけるようなシステムに重点を

企業との場を重視して下さい。

常に社会の変化に気を配りながらシステム・目標の見直しを行ってください

2-4．実験，実習の充実

本科

規模の小さい教育環境だからこそ出来ることを。体験学習重視で。

good。できれば実験等もっと増やす。発表機会をもっと増やして、プレゼン能力を上げるべき。

少数精鋭であることを利用して、現場見学（現場実習）を増やしてはどうか（機動力がある→大学では無理）

レポート提出が多かったのは難点。それより資格の勉強を

実践的な教育の充実

机上教育だけでなく、実技を増やすべき。知識だけでは会社では役に立たない。ME ならもっと機械のオーバーホールをすべき。ME 卒なのに工具のことさえ知らないと笑いものになる。実践実技こそが大卒との違いになると思う。

机上のみでなく現場で学ぶことが多い。

実践的な指導。

2-5．パソコン教育の充実

本科

今はやはり、パソコンが出来ないと駄目なので身に付く教育を。

PC 関連の基礎教育

パソコン・情報技術の向上。

少なくとも MicrosoftOffice の内容は知っておいて欲しい。（使えるようになって欲しい）

2-6．創造性豊かな教育

本科

想像力開発が必要

物事の本質を見つめることが、創造性を高める近道

創造力・企画力の向上

2-7．人間性を学ぶ教育

専攻科

対人関係に優れるような教育システムの確立

本科

専門技術力は 。あとはそれを使いこなせる人間に！

社会に出て先輩や上司に可愛がられる様な人間性を育てては

コミュニケーション能力を訓練をして欲しい。

少年少女が大人になるまでの人格形成に関わっていることを強く意識した目標を掲げてほしい

2-8．柔軟なカリキュラム

専攻科

他学科のしていることも見てみたい。

本科

個人の感性を見出せるシステム

小中の公立教育が ” ゆとり ” になるにつれ高専の ” 詰込 ” とのギャップ。難しいですね！

より上を目指すのはいいけど，学生が対応できる範囲の目標及びシステムを！

もっと就職向けなシステム・目標が良いと思う

グローバル化推進・日本について語れる人材の育成

原理原則を中心に考える力，理解力を高める育成を望みます。

詰め込み式の教育システムでなく就職して役立つものを取り入れて欲しい

4年制大学とは異なる点を有効に活用できるシステムを伸ばして欲しい。

2-9．現状で満足

専攻科

満足していたので特になし

現状でいいと思う

本科

現状で良い

自分は5期生ですが，時代背景と共にそれなりに（良い意味で）対応しているように感じられますので今後も続けてほしい

良いと思います。

現状でOK。

良いと考える

十分良いと思う。

2-10．学ぶ意欲を持つ教育システム

専攻科

大学受験が無い分，怠けてしまう恐れあり

少人数教育による即戦力エンジニアの養成

本科

やらせるではなく，したくなるシステム

自分から勉強するように進めたほうが良い

興味あることを自分で探すこと（自分が土木なので土，水，構造等）

自己で学習できる（せざる得ない）教育システムとすべき

考えて行動する実戦力を身につける

頭の片すみにも残っていることが，きっと役に立つ

早い段階から生徒に目標を見つけさせるべき。

在学中に一人前になる！

自分の将来を描いて，何かに打ち込んで

なぜ勉強するのかを知って勉強して欲しい。

自分が何になりたいか目標を持って、それに合わせたシステムができると良い。

学生が落ちついて勉強に集中できるシステムを作り能力の高い技術者を育てることを目標に

どんな技術者を目指すかを明確に学生に意識させるような教育

学生にもその他の人にもわかりやすい教育システム・カリキュラムそして目標を掲げるようにしてほしい。育てる学生像とその教育方法がわかるように。

時間を大切に

資格取得の予備校にならないこと(社会の中で勉強するのモ力が付く)何のために勉学するのか？を学ぶべき。

大学を Target とするのはナンセンス 詰め込みすぎ、ゆとりが大切 創造性の up

目標を 1 つ持つこと

JABEE のシステムはとても良いものだと思いますが、産業界での認知度の低さを考えると認証取得は時期尚早と判断します。現時点では JABEE の思想を取入れた教育プログラムを構築し、より創造性豊かな学生の育成に注力して戴きたいと考えます。

地域の雄ではなく、全国レベルで他大学にひけをとらない学校となることを望みます。5 年間一貫教育を有意義に利用してください。

今、自分が学んでいる学問は、自分の望む職業の中でどういう位置付けになっているのか、よく理解して、ひろい視点で考えてほしい。

資格は持つ方がいい。

実力を養う

積極的にディベートできるような訓練が必要と思う。

目的意識を明確にして欲しい。

2 - 1 1 . その他

専攻科

不必要な行事の廃止(「会」が最後につくもの)

専門知識のIT化等、高専の特色を活かす事。

本科

高専卒業後何ができるのかを明確にしたほうが良い。

高校>大学進学との差別化をアピールすべきである。

短期大学同等以上のシステムを目標にしてほしい。(社会的な資格として),昔の話ですか？

「高専に望む・・・」と問われても難しい。専攻科等もある中で、また、多くが大学、大学院へ行く中で、「高専から就職する人に対して」問われているのであろうか。院卒だから、大卒だから、高専卒だから・・・という意識はないので回答できません。要は、どれだけ考えることができ、責任を持てるか、ということだと思います。

c . カリキュラム

2 - 1 . 一般教養の充実

専攻科

一般教養が劣るが，問題ないと思います。

本科

ドイツ語ってつかわないよね。

教養科目（物理，化学）がたりない

数学を重視

2 - 2 . 英語・語学教育の充実

専攻科

英会話力を

英会話の時間等を増やす

英語については，特に主点を置いてほしい。

英語力を維持・向上できるよう変更が必要

本科

英語にもっと力を

英語・工業英語をふやしてほしい

英会話は必要です。

ネイティブイングリッシュ

会話を前提にした英語教育が必要。

語学にも力を！

ドイツ語はいらないから，もっと実践的な英語教育を行った方が有益。

英会話の強化。

英語を充実してほしかった

英語教育の充実

一部の英語教育が大問題。教官の興味の押しつけでは英語は上達しない。

英語教育が他高校，大学と比較して明らかに不十分

語学教育の充実を望む

英語教育の更なる発展

語学力を補えるものがあればよい

私の年代の高専卒は英語力が低すぎる（社内での話）。改善に真剣に取り組むべき

英語にもっと力を

英語に関しては，型通りの英語教育でなく，実用的なものにして欲しい。語学はあくまでコミュニケーションのツールである。

実践レベルの英語を増やす

2 - 3 . 専門科目，卒業研究の充実

専攻科

低学年の時から学生に興味をもたせるカリキュラム（例えば学外研修・企業実習等）を取り入れ，基礎科目を学習する際の動機付けを工夫されたいと思います。

本科5年の時に測量実習があれば就職してすぐ役立つと思う。

専門科目で出てくる数学は、先に履修できるようにすること
創造教育に力を入れて下さい。

最新技術の取り入れられた授業内容

より実社会で役立つカリキュラムを増やす

浅く広くも大切だが、専門的に1つのことをやるのもいいと思う。

もっと専門知識を増やしても良いのでは

選択科目の増加

本科

選択を増す

実践的なカリキュラムを組む

C AはCADに取り組むべき、必要です。

専門分野の選択科目をもっと充実させると良い。

選択を増す

幅広い専門分野について教育するのが良い（深いことは仕事をしながらで十分であり、柔軟な思考のための基本となる知識が重要）

原理原則をきちっと理解できるようにすべし（専門科目）

授業科目の少なさ

専門科目が偏っている。建築系は選択科目を選択することができない！

建築系を3年時頃からもう少し勉強すれば良かった。

Web系のカリキュラムが必要では。

私の時代は選択科目も多く授業時間が多かったが、今は少なくなっていると聞いたが、
ME出身だがカリキュラムが機械に偏りすぎている。機械より電気を中心にすべき。一般的な経済を教えることも必要ではないか。

ハード系の会社に就職してもC言語は必要となってきた。C言語が使いこなせることが求められる。

MEについて、専門の基礎教育（製図等）も継続的に授業がないと身につかず、忘れてしまう
土木については、地学も学習すべき。今後の土木技術者には、地学の知識が不可欠。

技術の進化に遅れないカリキュラムの見直し

もっと深く充実した内容にしてほしい

たくさん選択教科があっても良い

複合教育はたいへん良いと思うが、理論的な側面に対する教育が不十分だと感じる

じっくりと授業を進める

テキストではなく、データシートや論文等を読ませてみては？

選択枠を広げ、他学科のカリキュラムも選択可能にし、より幅広いものにならないか？

シラバスを使った点は良いが、なかなか思うように進まなかったように思う。

2-4. 実験、実習の充実

本科

基礎→体験→反省→発展、で身に付くこと。

実践的な指導。

実験実習を重視したもの。大学の専門教育との差別化が必要

良いと思います。

少人数を活かしてより実践的な教育をどんどん増やして欲しい
実習は非常に重要である。

5年時に実習が多いと助かります。(測量学)

実験等、実際の物にふれる機会を多くとって欲しい

実例から考える(開発・設計)する。

実践教育を取り入れたほうがよい。

カリキュラムの中に、就職体験などの実務経験を取り入れる。

社外研修。企業への実習など。

物を作ることから始めてみて、なぜそうなったのかを求めているのも楽しいですよ。

実験実習はさらに深く、量を増やすべき、学生時代の実験実習が思った以上に役に立つ。

実際の現場へ行って学ぶことができるカリキュラムを入れて欲しい

単に理論で終わるのでなく何のためのものか実践にひもつけた教育を望む。

専門科目に実際に企業などに行き体験学習を取り入れたらいいでしょうか？

2-7. 人間性を学ぶ教育

本科

基本的な事(挨拶, 向上心, 礼節, 技術力)をマスターした学生の育成

高専祭などのイベントをもっと多くし、盛大にやって欲しい。

2-8. 柔軟なカリキュラム

専攻科

16時以降の授業は集中できない。それよりもクラブ活動をした方がよい。

無理なくゆとりをもって。

普通に

ゆるやかに。

遊ぶための余裕でなく、ぼーっと考える暇が欲しい。

もっと自由度を

本科

ほどよい休憩を。

大卒, 院卒に負けない教育をする!

情報社会は人間の考え方そのものを変化させる。それに対応した内容と柔軟性を。

特にないが, 3年, 4年でだれてしまわない工夫がいるのでは。

教官の自己満足でなく学生のために生きたカリキュラムを作ってください。

やらせるではなく, しなくなるシステム

個人の感性を見出せるシステム

週休2日制は廃止して授業時間を増やす方がよいと思います。

高度情報化の中で, OA機器を常に頼るビジネス形態になっていますが, その反面, 単純なミスも増えているように思います。この中で技術的な基礎教育を大事に考えていただきたいと思います。

早期から職業(就職)に関する「知る機会」を設けるべきでは?

全般的な水準を上げ, 真に実践的なリーダーとしてふさわしい専門能力を身に付けさせる。場合によっては, 完全な単位制への移行により履修進度の調整を個々に管理させるぐらいの自覚を持

たせてもよいのではないのでしょうか。

働いた後に役立つ実践的なカリキュラムをもっと組み込んで欲しい。

理論的なものの考え方，まとめ方，エンジニアにとって必須の要件をもっと教え込むべき。

実際の仕事でどんなことをしているのか知りたい

民間企業の講師を呼んで色々な話を聞く事が役に立つと思う

この勉強が何の役にたつのか，しっかり伝えた上で授業すべき。

ソフトウェアの開発技法やプロジェクト管理，プレゼンテーション教育の充実

オリジナルの創造力を育てる方向へ

2 - 9 . 現状で満足

専攻科

複合学科のよりバランスのとれたカリキュラムだと良いと思います。

満足していたので特になし

本科

現状で満足

自分が在学していたカリキュラムで十分

特に無し。

めいっぱいでしょ。

なし

適当だと思う

専門のカリキュラムは充実している。やる気になれば実力はつく。

今のままで良いのでは

なし

変える必要は無い。

よい

普通高とはかなり異なっているからこのままでいい。

時々考えられている事が素晴らしい

2 - 1 1 その他

本科

それが面白いと思うころには卒業していた（在学中には気づかない）

d. 体制，環境

3 - 1 . 現状でよい

専攻科

十分に整っているのでは。

とてもよいと思う

満足していたので特になし

高専の中では研究する設備は劣っているとは思わない。

十分だと思う

問題ないと思います。

研究室に人を増やさずに教育するのはいいと思う。

環境は申し分ない

本科

現状のままで良いと思う。

問題なし。

なし

とても体制や環境は整っていると思う。

現状で満足

在学中より格段に良くなっているようなので，なし。

特になし

環境は十二分にそろっていると思います

良いと思います。

よい，自由すぎる

体制，環境は恵まれていると思う

S57年から62年在学していた状況で十分

自由でいいからこのままでいい。

なし

現在のままで特に問題ない

特に無し。

今のままでよいと思います。

なし

good

良い

良い環境で学生生活が送れているという実感を持てるようにして下さい

良い

良いと考える

今のままで良いのでは

コンピュータや測量機器は充実している。

環境は申し分ないと思う。実験及び計算器具並びに運動施設の充実。うまく利用を！

3 - 2 . 設備の充実

専攻科

1人1台のコンピュータの導入

研究・実験設備の充実

本科

図書館の充実（もっと専門書を）

今は改善されていると思いますが，寮はもっと近代的に快適にしてください。

夏は製図室にクーラーをつけてあげて欲しい。土木にもパソコン室が欲しかったです。

図書館の環境をもっと良くして欲しい。

冷房とまではいわないので，扇風機くらいはほしい

談話室 購売の万引きはなくなったのか。学食の米がまずかった。

（今はあるかどうかわからないが）RAS 接続（リモート接続）

3 - 3 . 実習工場の充実

本科

実習工場の設備をもっと充実させるべき。最低でも他工業高校並は必要

実際にマシンが作れる環境の整備

在学中はハードに興味があっても環境が整備されていませんでした。実験以外にもハードウェア製作が出ればよいと思う。最近はロボコンがそのための環境なのでしょうか。

3 - 4 . 学生交流の充実

専攻科

教官の部屋でなく専攻科生の部屋がほしい

本科

大学との交流（サークル・授業）を活発にしてほしい。

和をもつ

学年間の合流が必要（クラブ活動以外で）

一般企業や他高専との交流を活発にしてください（学生主体で）

3 - 4 . 情報交換の場

専攻科

三学科が一丸となって。

学科の教官が一致団結して目標に進むこと

特に研究関係時には，報告：連絡：相談を徹底するようにしては？

本科

5 年間もしくはそれ以上を 40 名単位のクラスのまま生活していくわけで，大学卒に比べると人的なネットワークというか人間自身の広がり，社会人当初ではどうしても劣ると感じているのでその点について改善できることがあれば実践していくべき。一部では本人が社貴人は「スキル」＋「コミュニケーション」とか「協働」とかが必要です。

各高専間の情報交換や意見交換（大学を対象としてもよいかも）

学科間の連携を密にして，資源（施設・設備・人材）を有効活用するべき。

3 - 5 . 学生の意識改革

本科

世界に目を向けさせるようなもの

最新のものや技術に触れることで、目指す技術者の選択肢を広げる。
早いうちから、目的意識をきちんと持たせる教育が必要では。
五年が欲を持ってやれば良い。あとは応用である。
5年間は長い。目的を明確に小刻みに与えた方が良いと思う。

3-6．学生生活をさらに活力のあるものに

専攻科

1～3年生にとっては楽な校風ですが、4年生以上にとっては高校生並の校風なのが疑問
最低限の専門知識をしっかりと使えるようにする。人間性を養える教育。
学生のやる気を出させる。

本科

今年の高専祭に行きましたが、まったく面白くなかった。学生の熱意やもりあがりを感じられなかった。学生に何かかけているのではないか。
皆で一丸となって取り組めるもの
個人の個性をはぐくめる環境をさらに充実させてください。
高専卒者の専攻科への社会人入学が可能になるような環境整備
中だるみへの対応
個人の感性を見出せるシステム
学生が伸び伸び生き生きと学べる環境とそのバックアップ体制を築いて下さい。
基礎部分は、実作業と理論を関連づけて教育していく。(例、図面の書き方は加工法が解らなければ描けないし、読めない)

3-7．民間企業との連携

専攻科

新しい技術を実につける。それをすぐに授業に反映するような体制があるとよい。仕事をしていて、知っているはずいぶん違う。

本科

民間人の導入を視野に入れてはみては。
地元企業との共同研究、技術相談、ベンチャーの立ち上げといった活動にも力を入れてもらいたい。このような活動が行われているとは思いが、中身が見えてこない。(PR不足なのでは？高専は学者の要請機関ではない。)
自主的に企業研修などに行くこともあろうが、ある程度の義務付けなど検討してはどうか。
社外講師(卒業生等)を招き、特別講義を週に一回程度行うべき。
企業との連帯感をもてばよい
専門教科では、企業で実務経験のある方が教えられる事が大事
いろいろな経験を積む。現場を良く見る。
卒業して15年になるので何とも言えません。ただ、社会の厳しさは少しは教えられるのでは？

3-8．資格を重視

本科

校外講師の積極的導入、国家試験へのチャレンジ
資格が取れるようなシステムを構築して欲しい

3-9 . 厳しい教育環境作り

本科

高専制度は青春の一番大事なときに墮落を覚える

甘やかしすぎ

テストの勉強に慣れないように

大卒，院卒に負けない教育をする！

教官の方々が開校当初に比べ役人体質（守り）に変わっていかれた気がします。けして皆さんではありませんが。

3-10 . 学校の場所について

専攻科

自動車通学を許可して下さい。

本科

それなりに土地も広大で，環境も良いが，車両通学は認めて欲しかった山の上にあるので不便ですね。

相変わらずのあの立地でしょうか？まずは日々の楽しみが欲しいですね

場所が悪い

車両通学の許可

3-11 . その他

専攻科

シンプルに

ベンダー系の分野も多少取り入れる。

尚ゆるやかに。

本科の教養科目を強化したほうが良いのでは？

就職してから専攻科に入る体制を作って欲しい。

本科

1クラスが多い

状況を把握していません。

独立行政法人になってからが楽しみです

e. 教官に望むこと

4 - 1 . 学生に目を向けて下さい

専攻科

学生の声を聞いてもらえるとよいと思います。

学生とコミュニケーションをとって下さい。

本科

研究だけでなく学生にも関心を

もう少し熱のある授業を，自分の学会発表もわかるが。。

近年，若い教官方は各人の研究に走る傾向にがあります。研究が重要な事は理解できますが，やはり創造性豊かな学生を育成し，社会へ送り出すことが本分ではないでしょうか？もっと学生指導に注力されることを望みます。

もっと学生のことを考えてほしい。学生のためを思って。

人の一生がかかっていることに親身にならずにどうする。やっつけ仕事はやめろ。

できる学生は放っておいても進んでいくはず。くすぶっている人に目を向けて欲しい。

試験だけで学生の良否を判断しないで下さい。学生の持っている力（才能）を見付け出し延ばして上げて下さい

学生一人一人を見て導いていただきたい

研究だけでなく，教育にも力を入れて欲しい。講義が理解しにくい

4 - 2 . 卒業研究に関して

専攻科

学生の自主性でテーマ（研究室配属）の構築を希望します。

本科

卒研では自分でテーマを決めさせた方が良いと思う。

卒業研究に対しテーマを与えて，後はアドバイスがほとんどなしというのはつらい

卒業研究に対する学生への対応をもっと活発にして欲しい。

もっと卒業研究に力を入れるべきだと思う。

卒業研究に協力して欲しい

4 - 3 . 授業の改善を

専攻科

実際に企業が行っている計算方法や実験を実践的に指導してほしい

初めて専門科目を習うときイメージがつかみやすいようにして欲しかった。

シラバス通りにきちんと授業を進めること（非常勤講師を含む）

基礎知識はちゃんとした教育で行うべき

馬渡先生のように社会で実際に使われているシステムを用いて授業を実施。基本だけでなく，それを応用した事象を踏まえての授業の実施。

本科

メリハリのある授業。（例えば内容が十分濃ければ，時間内でも終わらせる）

専門教育において，語句や式を覚えさせるのではなく，なぜそのような式になるかのような考え方を学生に身につけさせるようにしてほしい。

授業内容，学生への教え方を勉強し，工夫して欲しい。

その授業内容が、何に役立つのか、意識付けが大切。

先生は教えること＝自分の仕事を楽しかったのか？

より実践的な指導を（実習など）

学習内容が社会に出たときにどのように役に立つのかを知りたい。

レポートなどの提出期限について厳しくした方が良いと思います。

もっと具体的にどのようなところで用いられているか教えてほしい

学問をやる気にさせる授業をして下さい。

教えたことを学びとっているかの確認。

過剰な課題と理解を前提で進む授業は学生のモチベーションを下げる

教官の好みによらず、社会一般的に必要なことを授業でやったほうが良いと思う。

イメージのわく講義（概要、概念をお知える）

教えたことがどのような場面に使われるかも教えるように。

前年度と同じテスト内容はよろしくない。

授業が退屈なものにならないように工夫して欲しい

知識も大事であるが、考え方を教え込んでほしい

楽しい授業→その教科に興味がわく→勉強する→成績 up

理論だけではなく、実体験も交えてもっと身近に考えられるようにして欲しい。

一般教育の授業が淡々と進みすぎ。

校内でなく校外の見学等

技術の現場を意識した技術者教育をすすめられることをのぞみます

今までの良い大学を出て、良い企業に入れると言う図式はもはや崩れつつあります。企画力や開発力に重きを置き、会社に頼らず企業家を育成するプログラムの導入等、検討してみたいかがでしょうか。

真から楽しめる、真から意欲が沸く場づくり。

4-4．プレゼン能力

本科

プレゼンテーション能力が会社に入って必要な場面が多いので発表資料の作成，発表の機会を作
ってあげてほしい（もう取組まれているかもしれませんが）

発表の場を！！（プレゼンテーションの向上）

構造解析，FEM 等，AUTOCAD，パワーポイントを使えるようにする！（実例の計算等）（考え方を）
教える

4-5．新しい技術の導入

本科

新技術をどんどん取り入れて欲しい

定期的に企業との交流をもつ。 実社会での技術動向を反映して欲しい。

どんどん学会等への参加をしてほしい。

常に新鮮な講義をお願いします。

常に世の中の情勢を敏感に感じたり，それに合った教育を進めて欲しい。

自己の研鑽に励み，学生を幸せに導いて下さい。

常に高い教育レベルを目指して欲しい。

研究開発技術向上のため，学会，企業とのつながりを強力にして欲しい
新しいものを取り入れていく
先端企業との連携
新しいことを取り入れること。基礎を大切に
基礎に技術動向を加え，興味のある講義を行って欲しいと思う。

4 - 6 . 社会で通用する技術者の育成

専攻科

難しいと思うが，5年先のことを見据えて教育してほしい。

本科

学科教育だけでなく，社会人としての心構えについても，もっと多く教えても。

実行力を学生にたたき込んでほしい

即戦力となる技術者の育成が大事ではないか。

将来の技術者として役立つよう生徒を指導して欲しい

社会に出て役立つことを教えてください。

企業に求められる人材像を取り込みつつ，教育に生かしてほしい

人生の先輩でもあるので，勉強だけでなく，就職してからの精神的な強さをも養って欲しい。

ノーベル賞の田中耕一さんのように，固定観念にとらわれないで欲しい（やわらかい頭）

知識もだけどより実戦を

建設業界が厳しい状況なので，会社に左右されないエンジニアを育てて欲しい。

4 - 7 . 学生の個性を伸ばして下さい

本科

個人の感性を見出せるシステム

学生の気がついていない適性にも積極的に意見を述べるべき。

学生が何かに積極的に活動できるようにサポートして欲しい。

4 - 8 . 心のケアを

本科

カウンセラー的な存在の教官が必要だと思う。

学生への精神面でのサポートを強化して欲しい。

1～3年の高校生の年代の心のケアを

4 - 9 . 情熱を持って下さい

専攻科

情熱を持って。

本科

教官自身が，なぜそこで教官をしているのかを考えた上で，「伝えたい事」を教わりたかったです。

熱意を持って頑張ってください。（熱意の無い子供が多いので大変でしょうけど）

熱意，理論的な考え方。

熱意のある先生とない先生に差がありすぎ

熱意を失わないようにしていただきたい。

情熱を持ってがんばってください。

4-10．教官の指導方法について

専攻科

専門知識も大事だが、それよりも人間としての倫理観を教えてあげて下さい。

指導力の向上

高専時（本科）では、自主性を重視しすぎるのは危険。

研究に対してもう少し指導を。できるだけレビューすべき

学生の自主性を養ってください。

普通に

専門知識に関しては確かにすごいと思いますが、学校関係以外の人たちともっとふれあうべきだと思います。厳しいとは思いますが、当時の感想では人間的魅力を感じる先生、影響力のある先生は少なかったように思います。

もっと厳しくご指導を

学生の自主性を尊重して欲しい（特に専攻科）

学生に現実を見せること。大学生と高専生の実力は等価ではない。

本科

良くも悪くも職人気質

多くの教官は学生の事に親身に接して下さり大変ありがたく思っています。ただ一部に " 何故この様な授業を？ " という教官もあり、内容の改正を強く望む

みんなまじめすぎる

教育者としての勉強はされているのでしょうか

個性的で良いと思う

青臭い学生を育てて下さい

知識をつめこむだけでなく、社会人として通用する心の教育が必要だと思う。

教官の指導方法改善

生徒に夢を持たせるよう。また、教官自身夢を持って。

古いものは去れ。やる気のないものは去れ

専門のことだけでなく、教育者としてのレベルアップも図って欲しい。

自分勝手

企業が求めている人材は何かを分かって欲しい

厳しいと思う位厳しい教育や指導で望んでほしい

コミュニケーションを増やすことが大切

在学中にもっと資格をとらせてほしい。

自分が学校の外でも活躍している（学会発表や論文等）をもっと学生にアピールすべき。

学生時代不真面目でも社会に出れば真面目になります。若い頃に色々経験させてやってください。

在学時に比べ、高齢化している。

学生の活躍の場を広げるために、大学の紹介を積極に行い、進学のアドバイスを与えてほしい。

企業を知っている教官を増やすべきである

4-11．激励

専攻科

素晴らしい教官にめぐり逢えてとても充実した学生生活でした。これからも頑張ってください
自分は教官に救われた感があるので、今のままで学生に接して欲しい。

本科

お体に気を付けて頑張ってください

若い学生の感覚に負けないでください

頑張ってください

4 - 1 2 . その他

専攻科

満足していたので特になし

いつも何でもしゃべれてよかった。

もっと数が増えると良いです

本科

特になし。学生の学ぶ態度の方が大切

特に無し。

なし

特にありません。

特になし。

f．その他（就職等）

5 - 1．学生へのアドバイス

専攻科

高専は就職には恵まれているが、それに頼りきらないようにやる気が必要です。別に勉強しなくても頭いい人はいいので。頭があまりよくないので頑張らないといけません。

夢実現のため、自分で活動を展開する

これからは人と同じでは駄目だと思います。何か特技を持つ事。

本科

世の中不況だが、10 年先はわからないので、夢を持って頑張りたい。

もっと早い段階から考えること。

即戦力を企業は期待しています。資格取得等、在学中に努力を。

厳しい世の中ですので、先は何が起きるかわかりません。どんな環境でも生きていけるバイタリティを身につけて下さい

しっかり考えて就職して下さい

自分をアピールできる才を持ってほしい。

どこに就職しても同じで、これだけというものが自分にあればいいと思う。

自分が本当にやりたいことは何かを考えて決めてください。

学校で学ぶことが全てではない。自分の将来像をよく考えて就職を。

できるかぎり、大学への進学を考えて頂きたい。

自分の学んだものを生かせる仕事だけに目をむけないで大きな目で勤務先等を決めて欲しい。

自由応募でがんばれ

いろいろな可能性があり、何事も前向きに行動する。今しか出来ないことを悔いのないように学生時代を満喫する。

上に行くか楽をしたいか、ライフスタイルに対する考え方をまとめてから就職先を選ぶべき。

仕事は経験

名前だけで就職先を決めるのはよろしくない。

不況に強い公務員もボーナスカットです

徳山高専出身であることを誇りに頑張って下さい。

5 - 2．現状でよい

専攻科

現状でいいと思います。

満足していたので特になし

本科

フォローも熱心にしていただいた。充分である

すべては本人のやる気次第です。私は怠け者でしたので就職してから苦労しました。しかし、高専の5 年間は仲間にも恵まれ、毎日ギターが弾けて最高でした。大変感謝しています。

よい

現状で満足

5 - 3．進路指導について

専攻科

自発的に就職活動をさせることも大事。

選択肢は多く

進路指導のときは、その職種のことを第1に考えてほしい。

本科

今後は全ての卒業生を進学できるような体制にすべき。5年間では限界がある。

進路指導の時間をもっととるべきだ

就職は厳しいですが、worldwide な就職をする時代です。そういった情報も大切。

実力とは総合学力。大きな会社にとられず本人のやりたいことができる会社を進めて下さい。

職業意識に関する講義等が就職時には役立つと思います。

企業情報を多く入手すること

学生の意思を尊重し、就職先を選んでほしい

在学中に積極的に社会を体験させる。

会社等に入社してみないと、その仕事は分からない（自分がイメージしていた事と違う）

高専に育てて頂いた事に感謝していますが、全て社会に出てからが勝負だと思います。

留学希望を支援する進路があった方が良くかも。

地元企業への就職に力を入れてもらいたい（宇部に高専があるのに徳山に高専ができたのはなぜか）

1年次から比べれば5年生はかなり大人ですが、世間の情勢を実感はできないと思います。生きた情報を常に取り入れてあげられると良いですね。

卒業生の就職した会社から動向・情報を解析すれば有効だと考えます

会社見学とか実務体験をもっと積極的に。

不景気で公務員になる人が多くなっているが、民間企業でも頑張っ

て欲しい。
入社して年月が経つと技術以外に色々な要素が必要になってきます。色々な分野に興味を持ち、日々勉強することが必要になってきます。

厳しいのは就職だけでなく就職した後

再就職、転職支援体制を整えること。

専門科目以外に就職したいという学生さんにも便宜を図ってあげて下さい。

就職については、数より質を重視。以前より各学校の特色というものが無くなったように思う。

5-4. 教師への要望

専攻科

専攻科の知名度を上げてほしい（未だに高専本科卒と言われることがある）

しっかりと相談にのってあげて下さい。

教官は自分の専門分野については、日本（世界）のどこでは何の研究をやっているといったことは知っておいて欲しい

高専専攻科が大学卒と同等に扱われるよう企業にアピールして欲しい

この業界が好きでなければやめた方がよい

本校の中身を社会へアピールして欲しい。

高就職率を維持してほしい

専攻科の知名度を（民間企業に対して）上げて欲しい。

本科

企業の人事の人間と仲良しになるのも大切だとは思うが、人事は事務方の人間。会社に入って卒業生がつくのは技術（現場）の仕事。現場の生の声も沢山聞いておく必要が就職担当の先生にはあると思う。

教官が、あまり世話しすぎるのも、良くないと思います。

大卒以上しかとらない企業に、高専卒ももっと採るように働きかけて下さい。

社会との連携を密接に学生の就職がスムーズに行くよう準備して下さい。

地域・地元に関わる人材育成の視点から、地元経済界とのもっと密なコミュニケーションが必要（就職指導等）

社会人と学生との違い（受身と能動）をはっきりと教え込む。

求人情報に関するデータをより分かりやすくしてほしい。

専門技術能力はあると思うので、プレゼンテーション能力を身につけてアピールする力を身につけてアピールする力を付ければ良いと思う

昨今のロボコンブームは高専の価値をかなり高めましたね。問題はそういうところからこぼれていく多くの学生の意欲と前向きに維持する力でしょうか

時代の流れにより、院卒が新入社員の受け入れ標準になっている会社が多くなっている。高専生には学部卒、院卒に負けない専門知識を身につけてほしい。

公共事業の見直しに伴う土木系の仕事が減少しているので土木でも多方面への就職を考え何にでも対応できる資質を身に付ける教育方針をたててほしい。

5-5. その他

本科

大卒者でも就職が厳しい。卒業者は後輩のことも考えて転職した方がよいのでは。

夢と希望をもてないのが悩み。

部活に重点がなさすぎ

特にありません。

とくになし

特になし

なし